

感謝

平成二十五年十一月一日
平成二十五年十一月三十日

愛寿会・仁生園・第二仁生園への ご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。また、ご叱正を賜りながら、お礼状に替えさせていただきます。

金員・物品のご寄附

- 北杜市 道村 典子 様
- 東京都多摩市 岩下 正代 様
- 東京都大田区 鳥養 淳子 様
- 北杜市 堀込 一幸 様

ボランティア活動

- レクボランティアほがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- レクボランティアゆずっこの会 代表 佐野 恭子 様
うたななま八ヶ岳
- 北杜市 保坂 多枝子 様
- 北杜市 井上 早智子 様
- 北杜市 三村 明子 様
- 北杜市 原田 勝子 様
- 北杜市 日赤奉仕団長坂分団 青柳 昭次 様

愛寿会後援会へのご協力

- 北杜市武川町 石水 肇 様
- 北杜市長坂町 田中 一 様
- 北杜市長坂町 小林 脩 様

インフルエンザ予防接種



毎年この時期になると季節性のインフルエンザが急に流行します。その為、仁生園・第二仁生園では、十一月から十二月にかけて予防接種を実施しております。

日赤奉仕団様がガラス拭き

十一月十六(土)、日赤奉仕団長坂分団(小林稔委員長)十七名が来園されました。

一階、二階の窓ガラス拭きを手際よく済ませると、外に出て、中庭に面した特養の居室の窓を拭いてくださいました。「内側からカーテンを閉めてください」とのことで、プライバシーにも配慮していただきました。一時間という限られた時間でしたが、窓ガラスがきれいになりました。

団員からも『今日の作業が施設の人に喜んでもらえてよかったね』との話がありました。

これまで長坂分団は、心肺蘇生法等の研修が中心でした。今回が初めての奉仕だったので団員も「新鮮な気持ちで作業ができてよかったです」と話されました。

寒い一日でしたが、団員の方々のあたたかいお気持ちに感謝致します。ありがとうございます。

鳥養様から車椅子 寄贈



鳥養様の御家族から車椅子を寄贈して頂きました。この車椅子は、ブレーキを掛け忘れた場合でも立ち上がる自動ブレーキが掛かり、転倒を防止できる最新式です。入所者様も大変喜ばれ、職員も感謝しています。

堀込様から立派な白菜

北杜市長坂町にお住まいの堀込様から、旬の野菜・白菜を頂きました。

顔が隠れてしまいそう…とつても大きく育った白菜を両手で抱えて思わず笑顔。寒いこの時期お料理に大活躍の白菜、シチューやお鍋で美味しく頂きました。ありがとうございました。



愛寿会のサービスへの何かご意見・ご要望や施設見学等のご希望がありましたら左記までご連絡ください。

- 仁生園 電話 0551(32) 3340
- 第二仁生園 電話 0551(32) 8270

愛寿会だより

12月号
第174号
平成25年
12月1日発行



感染症(インフルエンザ等)の予防対策などについて、愛寿会 嘱託医 溝口康司先生(スライド右側の先生)からご教示をいただきました。

インフルエンザやウイルス感染症の発症が多発する季節になりました 感染の予防と拡大防止にご協力ください

感染症の予防と対策について

愛寿会 嘱託医 溝口康司先生

(先生のお話の要旨を掲載します)

・ワクチンの接種は一週間で抗体が上昇し、一ヶ月後のピークを迎え三ヶ月効果がありません。

二、施設によるインフルエンザ対策は手指消毒の励行、流行時の施設利用者・ご家族の不要不急な面会の制限(感染拡大の防止)、職員の健康管理(ワクチン接種)などです。流行拡大時に抗インフルエンザ薬の予防投与の徹底も重要となります。

施設からのお願い

ご面会の皆様には、次の七項目の厳守にご協力をお願いいたします。

一、面会ではできるだけ午前九時～午後五時の間にお願いいたします。

二、施設の出入りは、正面玄関からとさせていただきます。

三、ご来園の際は、必ずマスクを持参着用して、「咳エチケット」を守りましょう。

四、手指消毒を励行しましょう。

五、事務室に来意を告げてから、各フロアへお越しください。

六、各フロアのケア・ワーカーにも来意を告げてください。

七、風邪症状等、体調に不安がある方は事前に面会をお控えください。

*流行時期やインフルエンザ感染または疑いのある方は、面会を制限させていただく場合がありますのでご理解とご協力をお願いいたします。

一、予防方法として、日常生活上の注意とワクチンを使用した予防接種があります。

・免疫力の低下は感染しやすい状態を作るため、偏らない十分な栄養や睡眠休息をとることが大切です。これは風邪やほかのウイルス感染に関しても非常に効果が高くなります。

・石けんによる手洗いや手指消毒の励行。手で目や口を触らないこと。間違ったマスクの使用は感染を拡大させる危険性があるので、説明書の使用方法をよく読んで着用してください。

・感染の可能性が考えられる場所に、長時間いることを避ける必要があります。

仁 生 園

運動会

十一月二十四日(日) コミュニティホールにて運動会を実施しました。施設行事ということもあり各班から大勢の入所者様が参加されました。

「ひさしぶりだねえ」「元気かい？」など顔を合わせると会話も弾み、和やかな雰囲気の中で始まりました。

始まる前は緊張している方もいらつしやいました。ラジ体操の音楽に合わせて少しずつ体を動かし、紅白に分かれ「玉入れ」「ボール送り」の競技に参加され一生懸命取り組まれていました。「玉入れ」競技では、職員が玉の数を数えるのを緊張した面持ちで見守り、勝敗の行方に一喜一憂されていました。



職員による「イス取りゲーム」が始まると、普段では考えられない程の元気な声で声援を送り、職員がイスの周りを歩いている時も、手拍子を打ったりと明るく楽しい運動会になりました。

日常生活では感じる事ができない、職員と利用者様が同じことで笑う、協力して取り組むというこの感じのいい機会になりました。今後、日常のレクリエーションの中にも簡単な体操やゲームをもっと取り入れていきたいです。

衣料ショッピング

冬將軍到来間近となった十一月十日(日)、冬物の衣料ショッピングが行われました。衣料ショッピングは年二回夏と冬の季節の変わり目に行われますが、何時も業者の方に安くて良いものを沢山並べていただきご協力を頂いています。

服は誰もが自分らしさを演出できる要素を持っています。入所者の皆様は、用意された服の中からご自分の好みの服を選ばれ楽しいひと時を過ごされていました。



三井いとの様 百歳お祝

十一月二十三日(土)、三井いとの様が百歳の誕生日を迎えられました。



「感謝の気持ち」と「毎日くよくよしない事」が長生きの秘訣とおっしゃって日々過ごされています。百歳を迎えられた喜びの日「皆様のおかげです」としっかりとした口調でごあいさつされました。北杜市からお祝と花束が贈られました。おめでとうございます。

第二 仁 生 園

書道ボランティア

毎月、書道や陶芸を教えにボランティアの佐藤英道様ご夫妻が来てくださいます。今回は来年の干支の「馬」の字や、冬ならではの「みかん」「こたつ」「冬」「雪」等の字を、「半紙に元気に書きましょう。」と、教えて下さいました。

園内に、皆様の力作を展示しておりますのでぜひご覧ください。



チェンバロの音色に感激しました

年に何回か来園し、季節の歌や楽器の演奏をして頂いている「うたなかま八ヶ岳」様。この日、第一部は「たき火」「冬景色」等の冬の歌の後、第二部はチェンバロ、フルート、三種類のリコーダーのアンサンブル演奏と合唱団の皆様で、「アヴェ・マリア」「アリア」やバッハやヘンデル作曲の讃美歌を聞かせてくださいました。利用者様のほとんどがチェンバロを初めて見て、そして初めて聞く音色と美しい歌声に感激されていました。



第三部はクリスマスの歌を五曲歌って頂き、利用者様も楽しく口ずさんでいました。室内はひと足早いクリスマスモードで、急に寒くなった外の温度に負けない暖かなひと時でした。

職員紹介



仁 生 園 ケアワーカー 立花 明子

介護者として「あるべき姿」を明確にしながら、いろいろなスキルを学び、コミュニケーション能力の向上を図りたいと思います。また、常に利用者様の立場に立ち安心して毎日の生活が送れるように、生きがいを持つ生活の場を提供できるように努めさせて頂いております。宜しくお願い致します。



仁 生 園 ケアワーカー 小林 佳純

仁生園に勤めて六年以上が経ちました。「介護」について全く無知だった私がかれまで続けてこられたのは、利用者様の「ありがとう」という言葉があったからです。まだまだ未熟で一日一日が勉強ですが、感謝の気持ちを忘れず、利用者様に必要とされるよう頑張っていきたいと思っております。



第二仁生園 ケアワーカー 水野 伸子

山梨県の「介護職員養成支援事業」に従事する職員として、今年度より第二仁生園に勤務しています。福祉の仕事は初めてでしたので利用者様への接し方や声かけ等戸惑う事もあり日々勉強中です。そのような中でも、利用者様との楽しい会話や優しい笑顔に励まされます。勉強の知識を活かし、最善を尽くせるように是非を見極め、自分なりに頑張りたいと思います。

グループホーム「やすらぎ」

八ヶ岳おろしが吹き始め、いよいよ小荒間も冬本番となりました。入居者の皆様も出掛ける機会が少なくなりましたが、暖かいフロアー内で「ころ柿作り」「大根干し」など冬の準備を行っています。



干した柿をながめ「色が変わってきたよ」「早く食べたいね」と、ころ柿の完成を待ちわび、楽しみにしている毎日です。

生活支援ハウス「こあらま」

十一月二十八日(木)、お部屋のインテリアとしても飾れるように、松ぼっくりを使ったクリスマスツリーを作成しました。

松ぼっくりに飾りをつけていくのは細かい作業でしたが、それぞれビーズやモール、雪に見立てた綿やリボンなど沢山の飾り付けを付けた、カラフルで綺麗なクリスマスツリーが出来上がりました。

